

第28回 白川・東白川地域公共交通活性化協議会 次第

日 時 令和5年11月6日（木）午前9時30分～
場 所 白川町町民会館 1階大研修室

1. 開会

2. 会長あいさつ 白川町長 佐伯 正貴
副会長あいさつ 東白川村長 今井 俊郎
〃 名古屋大学大学院教授 加藤 博和
(議事進行) 座長： 白川町副町長 安江 章

3. 報告事項

- (1) おでかけしらかわ・ひがししらかわ利用状況について 【資料 1】
(令和4年10月～令和5年9月)
(2) 公共交通おでかけツアー実施結果について 【資料 2】

4. 協議事項

- (1) 白川・東白川地域公共交通計画（素案）について 【資料 3】
(2) 今後の予定について 【資料 4】

5. その他

6. 閉会

<配付資料>

- 資料 1 おでかけしらかわ・ひがししらかわ利用実績
資料 2 公共交通を使って行く！イオンモール各務原おでかけモニターツアー結果報告書
資料 3 白川町・東白川村地域公共交通計画（素案）概要版
資料 4 地域公共交通計画策定スケジュール

白川・東白川地域公共交通活性化協議会委員名簿

(敬称略)

構 成 区 分		役 職 等		氏 名	備 考
1	町村長		白川町長	佐伯 正貴	
2			東白川村長	今井 俊郎	
3	議会推薦		白川町議会議長	藤井 宏之	
4			東白川村議会議長	今井 美道	欠席
5	事業者		公益社団法人岐阜県バス協会専務理事	木村 治史	
6			濃飛乗合自動車株式会社 運輸事業部長	有路 秀彦	代理：美濃白川管理所長 鈴木 高俊
7			岐阜県交通運輸産業労働組合協議会	山下 光生	
8			大新東株式会社	佐藤 久仁	
9			東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部管理部企画課	豊田 智隆	欠席
10			医療法人白水会 白川病院	松本 茂	
11	住民代表	白川町	白川町自治協議会長会会長	田口 良一	
12			白川町商工会長	長尾 達美	
13			白川町観光協会長	鈴木 雄二	
14			白川町シニアクラブ連合会長	古田 博彦	
15			白川町公共交通利用者代表	笹本 恵子	
16			白川町公共交通利用者代表	土屋 千里	
17			白川町中学校PTA役員	藤澤 優	欠席
18			白川町校長会会長	額額 眞彦	欠席
19			白川町バス通学高校生保護者代表	塩月 洋生	
20			白川町社会福祉協議会	松山 良悟	
21		東白川村	東白川村区会長	安江 勲	欠席
22			東白川村シニアクラブ連合会代表	安江 浩	欠席
23			東白川村高校生保護者会代表	安江 真博	欠席
24	国土交通省		中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	山田 慎児	
25			中部地方整備局岐阜国道事務所管理第一課長	明慶 幸司	
26	岐阜県		可茂土木事務所施設管理課長	青木 誠司	
27			加茂警察署交通課長	松原 由幸	
28			都市建築部都市公園・交通局公共交通課長	城戸脇 研一	欠席
29	学識経験者		名古屋大学大学院環境学研究科教授	加藤 博和	
30	副町長		白川町副町長	安江 章	
31	副村長		東白川村副村長	桂川 憲生	
32	町村職員		白川町役場建設環境課長	三ツ石 克明	
33			東白川村役場建設環境課長	有田 尚樹	

おでかけしらかわ・ひがししらかわ 利用実績

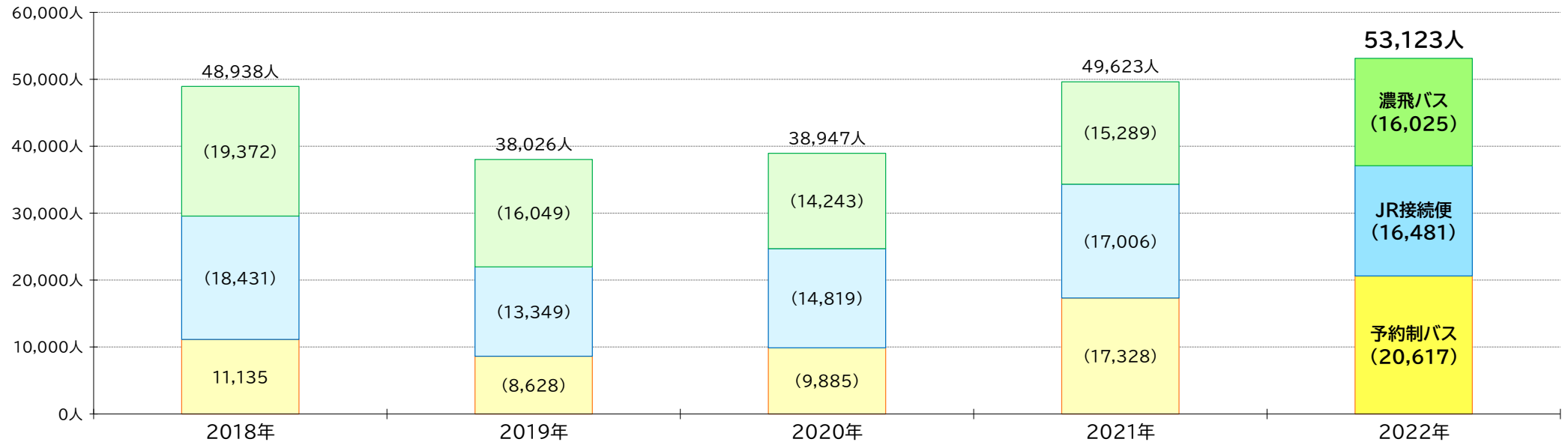
資料 1

【2022年度実績】2022.10～2023.9

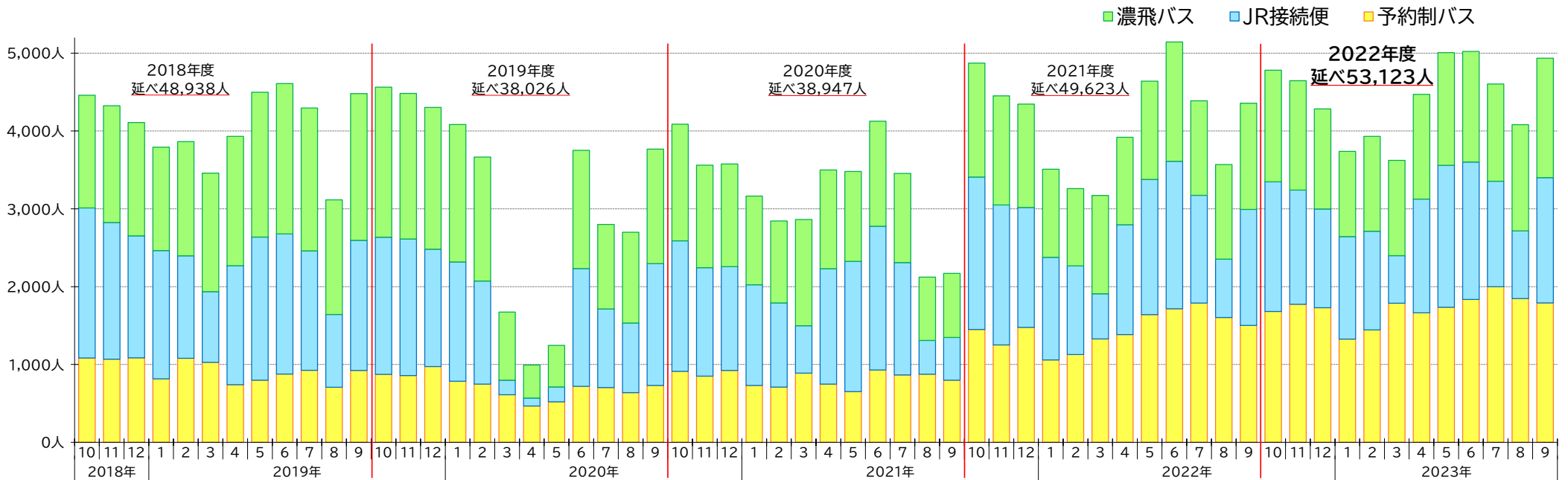
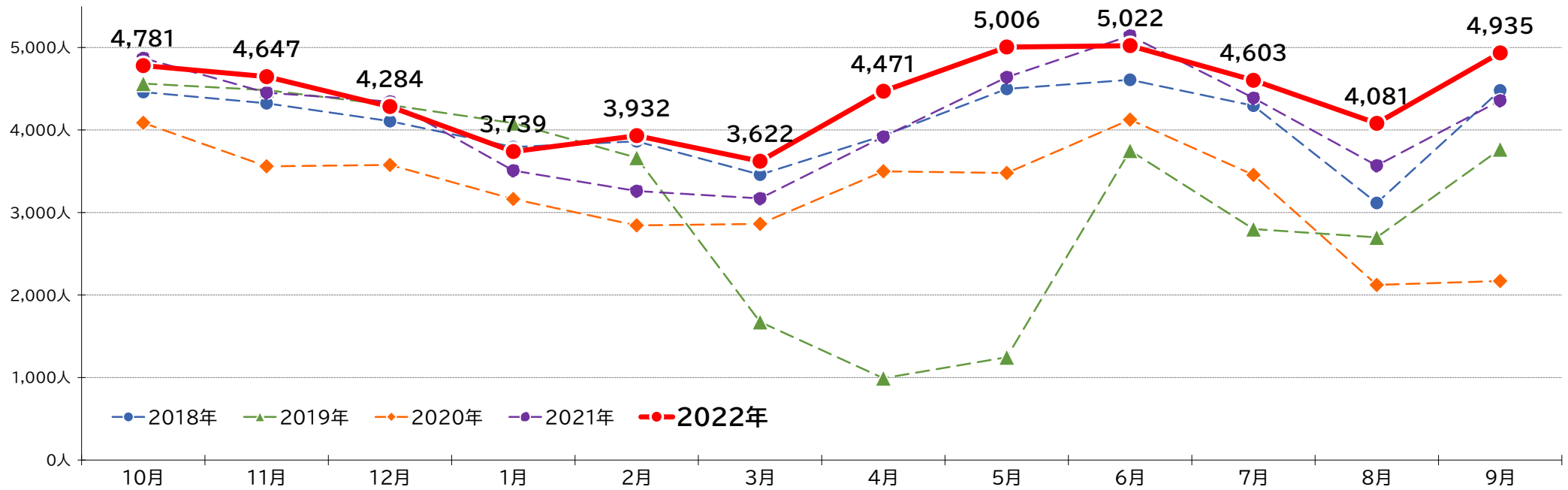
	濃飛バス						JR接続便(町自家用有償)				予約制バス(町自家用有償)				合 計			
	2022年			2021年	増減	増減率	2022年	2021年	増減	増減率	2022年	2021年	増減	増減率	2022年	2021年	増減	増減率
	東白川	中央	計															
10月	1,026	408	1,434	1,462	↓28	↓2%	1,665	1,959	↓294	↓15%	1,682	1,450	↑232	↑16%	4,781	4,871	↓90	↓2%
11月	993	413	1,406	1,402	↑4	↑0%	1,468	1,798	↓330	↓18%	1,773	1,252	↑521	↑42%	4,647	4,452	↑195	↑4%
12月	885	401	1,286	1,327	↓41	↓3%	1,268	1,541	↓273	↓18%	1,730	1,477	↑253	↑17%	4,284	4,345	↓61	↓1%
1月	803	292	1,095	1,130	↓35	↓3%	1,318	1,319	↓1	↑0%	1,326	1,059	↑267	↑25%	3,739	3,508	↑231	↑7%
2月	878	341	1,219	993	↑226	↑23%	1,269	1,140	↑129	↑11%	1,444	1,127	↑317	↑28%	3,932	3,260	↑672	↑21%
3月	732	491	1,223	1,263	↓40	↓3%	611	579	↑32	↑6%	1,788	1,329	↑459	↑35%	3,622	3,171	↑451	↑14%
4月	900	445	1,345	1,123	↑222	↑20%	1,462	1,412	↑50	↑4%	1,664	1,384	↑280	↑20%	4,471	3,919	↑552	↑14%
5月	1,042	406	1,448	1,263	↑185	↑15%	1,822	1,737	↑85	↑5%	1,736	1,640	↑96	↑6%	5,006	4,640	↑366	↑8%
6月	994	426	1,420	1,532	↓112	↓7%	1,767	1,896	↓129	↓7%	1,835	1,715	↑120	↑7%	5,022	5,143	↓121	↓2%
7月	812	437	1,249	1,215	↑34	↑3%	1,354	1,384	↓30	↓2%	2,000	1,789	↑211	↑12%	4,603	4,388	↑215	↑5%
8月	928	437	1,365	1,215	↑150	↑12%	869	750	↑119	↑16%	1,847	1,604	↑243	↑15%	4,081	3,569	↑512	↑14%
9月	1,077	458	1,535	1,364	↑171	↑13%	1,608	1,491	↑117	↑8%	1,792	1,502	↑290	↑19%	4,935	4,357	↑578	↑13%
合計	11,070	4,955	16,025	15,289	↑736	↑5%	16,481	17,006	↓525	↓3%	20,617	17,328	↑3,289	↑19%	53,123	49,623	↑3,500	↑7%

年間利用者数の推移

■予約制バス ■JR接続便 ■濃飛バス



月別利用者数の推移



(ツアーの目的)

白川町の公共交通利用者の多くは高齢者や高校生であり、それ以外の世代は公共交通を利用する機会がほとんどない。この事業は中学生を対象に公共交通を利用することで親に頼らず自分たちだけで出かけられることを知ってもらい、今後も継続した公共交通の利用につなげることを目的に実施する。

また保護者には、「親が送迎しないとどこにも行けない。」という思い込みをなくし、公共交通は「意外と使える」「意外と便利」なことに気付いてもらう機会とする。

(ツアーの概要)

行き先 イオンモール各務原
〒504-0943 岐阜県各務原市那加萱場町3-8 電話:058-375-3700



行 程 令和5年8月9日(水) 日帰り

◆行き	◆帰り
9:00 発 白川口駅	15:50 発 イオンモール各務原バス停
【ＪＲ】高山本線（美濃太田行）	【バス】岐阜バス（各務原市役所前駅行）
9:38 着 美濃太田駅	15:57 着 新那加駅北口バス停
9:58 発 美濃太田駅	【徒歩】約50m
【ＪＲ】高山本線（岐阜行）	16:24 発 那加駅
10:26 着 那加駅	【ＪＲ】高山本線（猪谷行）860円
【徒歩】約50m	
10:41 発 新那加駅北口バス停	
【バス】岐阜バス（イオンモール各務原行）	
10:49 着 イオンモール各務原バス停	17:43 着 白川口駅
860円	100円



(ツアー状況と参加者アンケート)

AM9:00頃 白川口駅集合



ツアーに参加する前、おでかけしらかわを利用したことがありましたか？
利用したことがある方は、利用した内容を教えてください。

1. ある	6名
2. ない	7名
合計	13名

「ある」と回答した生徒は、スポーツリンク活動(部活動)での利用

おでかけしらかわを利用した感想を教えてください。

1. とても不満	0名
2. 不満	0名
3. 普通	0名
4. 満足	8名
5. とても満足	5名
合計	13名

運転手が優しく接してくれた
簡単に予約と利用ができた
とても安全運転で静かだった

AM9:00 JR高山線 美濃太田行きに乗車



JR高山線を利用した感想を教えてください。

1. とても不満	0名
2. 不満	0名
3. 普通	1名
4. 満足	5名
5. とても満足	7名
合計	13名

車よりも速く目的地へ行ける
振動が少なく乗り心地が良い

AM9:38 美濃太田駅にて那加駅までの切符を購入

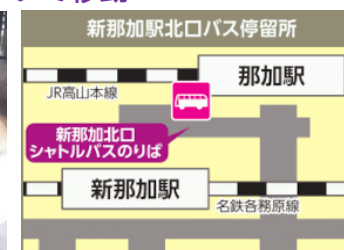


AM9:58 美濃太田駅発岐阜行きに乗車



-4-

AM10:26 那加駅到着 歩いて新那加駅北口バス停まで歩いて移動



AM10:41 岐阜バス(イオンモール各務原行き)に乗車



岐阜バスを利用した感想を教えてください。

1. とても不満	0名
2. 不満	0名
3. 普通	3名
4. 満足	6名
5. とても満足	4名
合計	13名

右折左折時に運転手が声掛けしてくれる
運賃が安い(100円)

AM10:49 イオンモール各務原到着



FreeTime



イオンモールの滞在時間はどうか？

1. 短い	3名
2. ちょうど良い	10名
3. 長い	0名
合計	13名

PM3:50 岐阜バス(新那加駅北口行き)に乗車



公共交通による移動全体について(バスとJRの乗り換え等)の感想を教えてください。

1. とても不満	0名
2. 不満	0名
3. 普通	5名
4. 満足	5名
5. とても満足	3名
合計	13名

電車とバスの接続が近く分かりやすい
歩くことも少なくスムーズだった

PM3:57 新那加駅北口到着



PM4:24 JR高山線猪谷行きに乗車



今後、公共交通を利用したいと思いますか。

1. 思う	11名
2. 思わない	2名
合計	13名

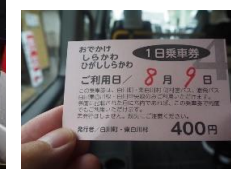
【思う理由】

遠い場所に速く着くことができるから
親に頼らなくても自分たちで行ける
便利でとても楽しかったから
生きていくうえで必要になるから

【思わない理由】

家の車が気楽だから
人が大勢だから

PM5:43 白川口駅到着



ツアーに参加して良かった点、悪かった点を教えてください。(自由意見)

《良かった点》

自分でやらなかったことを自分でできるようになった
電車の乗り方を覚えることができた 2名
公共交通のことを知ることができた 2名
初めての体験を沢山できた
自分たちで遠くへ行くことができた
公共交通の乗り方や乗り換えを知ることができた 2名

友達と楽しく過ごせた 2名
自由行動で良かった
楽しい思い出が作れた

《悪かった点》

意見無し



公共交通を利用して自分たちだけで目的地まで移動することを目的として開催しましたが、そのことについて思ったこと感じたことを自由にご記入ください。

《自由記載》

乗り方の説明が分かりやすく、今度は一人で乗ってみたい
みんなで行き方を学ぶことができた
皆と協力して行くことはとても楽しかった
友達と相談しながらできたこと
電車の乗り方が分かり、これから沢山使いたい
皆と協力することが楽しかった
みんなと協力してやれた
友達と一緒にいけて楽しかった

今後、このようなツアーを計画するときに行き先や移動手段(公共交通)を考える企画段階からご協力いただくことはできますか？

1. 協力したい	6名
2. 協力したくない	7名
合計	13名



【考察】

- ☐ 実際に利用してみると便利で簡単だと気付いてくれる。
- ☐ ひとりではなく仲間がいると、なおのことハードルが下がる。
- ☐ 頼っていた部分を自分でできた達成感により自信が身につく。

【今後の取り組み】

- ・ 行き先である目的地で楽しみを持てることが必要（良い思い出づくり）
- ・ きっかけは、仲の良い友達と！
- ・ **帰宅後の子どもの様子を見た親が、公共交通のありがたみを感じてもらえる施策の展開**

今後のおでかけツアーで行きたい場所を教えてください。

遊園地	8名
水族館	1名
ショッピングモール	1名
無回答	3名
合計	13名

中学生自身が企画提案するツアーの実施

- 目的と行き先の決定
- 行程決め(出発帰宅時間、利用する公共交通機関)
※時刻表などで事前に調べる。

アンケート結果から、今回の企画は参加者には概ね好評であった。しかし、人混みが苦手な子や周りの目を気にしてしまう子がいるのも事実である。数人の保護者から、「これまで付き添っていたが、自分たちで楽しみながら出かけられることが分かりありがたい。」「公共交通の使い方だけでなく、お金の使い方も学習できて良かった」といったツアー後の感想をいただいている。

可茂地区小中高特生生徒指導連絡協議会から発出されている「校外生活の約束」

- 1 次の場所へは、保護者と一緒でなければ出入りしません。
①ゲームセンター（コーナー）
②喫茶店（漫画喫茶及びインターネットカフェを含む）
③カラオケボックス
④映画館 ⑤ボウリング場 ⑥バッティングセンター
*④～⑥は、中学生は、保護者の許可のない限りは出入りしません。
小学生は、保護者と一緒でなければ出入りしません。
- 2 スーパー、デパート、コンビニなどで、長い時間集まっていたり、座り込んだりするなど、お店や周りの人たちに迷惑になることをしません。
- 3 登下校時には、店に立ち寄って飲んだり食べたりしません。
- 4 友人宅などへの外泊は、保護者の許可のない限り、しません。
- 5 夜の外出は、保護者の許可のない限り、しません。
(午後10時以降は補導の対象になります。)
- 6 友達どうしでの金銭の貸し借り、ものの売り買いをしません。
- 7 キャンプ・スキー・スノーボード・海水浴・旅行などは、保護者や大人の引率なしではしません。
- 8 ヘルメットなしでは自転車に乗りません。
- 9 ネットにつながる情報端末（ゲーム機・ケータイ・スマホ等）を使う場合は、家庭でのルールを作って、それを守ります（保護者は、子どものケータイ等にフィルタリング等のセキュリティ対策をします）。

白川町・東白川村 地域公共交通計画(素案)

<概要版>



■計画の背景

白川町と東白川村は、地域自らが公共交通の確保、維持に参画し、地域・事業者・行政が三位一体となり地域公共交通を「つくり」、「守り」、「育てる」ことを基本方針とした地域公共交通網形成計画を2018年に策定し、高校生の通学手段の確保、地域内のどこからでも利用することができる「おでかけしらかわひがししらかわ」の運行を開始しました。

つくりあげた地域公共交通を発展させ、地域内の様々なコト、多様な分野と連携することで相互に持続可能なしくみづくりを推進するため、地域公共交通計画を策定します。

■計画の期間

本計画の期間は、2024年(令和6年)～2028年(令和10年)の5年間とします。

地域公共交通ネットワークと輸送資源の現状



	主な役割	利用方法	運行内容	利用料金
定期バス	大量・長距離輸送に適しており、主要拠点をむすぶ基幹となる手段	バス停 (予約不要)	定時定路線 ・白川中央線(平日のみ)・白川東白川線(毎日)	100~200円
予約制バス	各地区便 (オンデマンド乗合)	電話予約	定期バスへの接続を基本とし、地区内運行を原則 ・白川白北地区・蘇原地区 ・黒川地区・佐見地区	ゾーン内 200円 ゾーン外 400円
	JR接続便	【高校生】 ネット予約 【一般】 電話予約	地区と駅間を直通運行 ・駅着 7時台(毎日) ・駅発 17時台(毎日) 18時台(平日のみ) 19時台(平日のみ)	200円
福祉有償運送 《白川町》	一人で公共交通機関を利用できない身体に障がいのある方や支援の必要な方を対象として、福祉車両を使って自宅から目的地(病院や買い物先など)までの移動を支援する手段	電話予約	町民専用 個別対応 【東白川村、下呂市金山町】 医療機関、福祉施設、公共施設、商店、金融機関 【七宗町、川辺町、八百津町、坂祝町、富加町 美濃加茂市、可児市、御嵩町、下呂市(旧下呂町)】 医療機関、福祉施設に限る	町内(15km未満) 400円 町内(15km以上) 500円 町外 1,000~2,000円
外出支援事業 《東白川村》	一般の交通機関の利用困難な高齢者等を、移送用車両を用いて、外出支援の援助を行う手段	事前登録のうえ、電話等による事前申し込み	村民専用 乗合送迎 【村内】 診療所通院、買物、教室送迎 【村外】 中核病院通院、透析通院	無 料

地域公共交通ネットワークと輸送資源の現状



区分	車両台数	運転手登録数	
② 定期バス	中型(56人乗り)2台 小型(27人乗り)1台 小型(28人乗り)1台	3名 週2回2名下呂営業所から応援有り	60代 1名 40代 1名 30代 1名
③ 自家用有償旅客運送自動車	ハイエース 7台 スクールバス 8台 小型(29人乗り)4台 中型(33人乗り)1台 中型(45人乗り)1台 中型(54人乗り)1台 大型(72人乗り)1台	30名	70代 9名 60代 10名 50代 1名 40代 9名 30代 1名
④ 福祉有償運送自動車	福祉車両(10人乗り)2台 福祉車両(5人乗り)1台 福祉車両(軽自動車)3台	12名	60代 6名 50代 2名 40代 2名 30代 1名 20代 1名
⑤ 外出支援車両	福祉車両(7人乗り)2台 ハイエース1台	4名	60代 2名 40代 1名 20代 1名

◆おでかけできる交通網ができたことにより、高齢者等の通院や買い物、高校生の自宅通学に対する支援が可能となった。

◆病院の送迎車両や小中学生の送迎用スクールバスといった輸送資源を、地域公共交通サービスに位置づけたことにより、多様なニーズに対応できる仕組みができています。

◆運転手不足が全国的に問題となっているが、白川町東白川村の交通網ではその傾向は無く、安定して運転手が確保できている。

将来像、あるべき姿から見た問題と課題

《将来像》

白川町
6次総合計画

誰もが気軽に
「おでかけ」できるまち

東白川村
6次総合計画

安全で快適な暮らしが実感でき
「すみよさ」のあるむらづくり

《白川町・東白川村地域公共交通》

あるべき姿

地域での暮らしを守り、暮らしを豊かに
～資源を有効に活用した地域公共交通サービスの充実～

問題(“あるべき姿”と現状の差)と課題(解決するために取り組むこと)

白川町と東白川村という地形的な要因や社会情勢、交通状況による問題と、地域公共交通に関する利用者アンケートや住民懇談会の結果から得た問題の要点を以下に整理します。

白川町と東白川村の問題点①

社会情勢

- ・人口減少と高齢化率の増加
- ・町村内店舗の減少

団塊の世代が、後期高齢者に差し掛かり、支える世代が先細りとなっているため、地域や家族での支援が困難になってきている。

支え合いが希薄化することで、無理をして自家用車を運転する高齢者の増加が危惧される。

地理的状況・交通状況

- ・地区間の移動に時間を要する
- ・主要道路の雨量通行規制有り

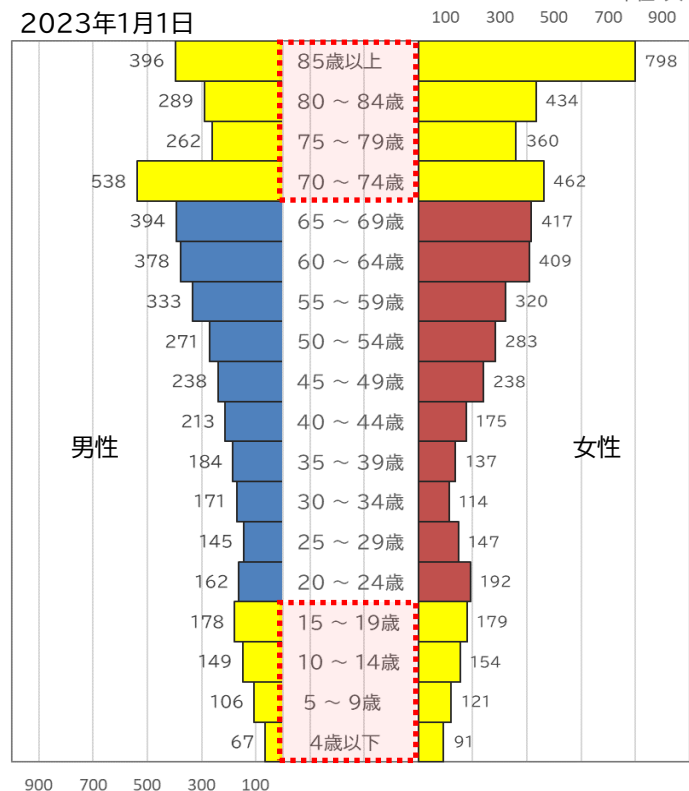
地区と地区が離れており、各地区内で日常生活に必要な移動が満たされない。

雨量通行規制による運休等の利用者への連絡手段がない。

人口ピラミッド(白川・東白川)

2023年1月1日

単位:人



道路名	種別	通行禁止(通行規制)		規制される区間
		連続雨量	時間雨量	
国道	41号	150mm	※2時間 60mm	七宗町檜原 ～白川町河岐 11.4km 白川町坂ノ東 ～下呂市金山町 12.5km
県道	下呂白川線 (国道256号)	120mm	60mm	白川町和泉 ～東白川村 19.8km ※東白川村地内 国道256号含む
白川福岡線		120mm	60mm	白川町三川 ～黒川 10.3km

将来像、あるべき姿から見た問題と課題

白川町と東白川村の問題点②

現行の地域公共交通における問題

【交通事業者、行政からみた問題点】

- ・地域公共交通の認知度の低さ
- ・16時以降に走らせられる予約制バス車両が減少(小中学校の下校時間帯)
- ・地域公共交通の運行経費に対する否定的な意見
- ・他業種、他分野との結びつきの弱さ
- ・運行体制、サービス改善に必要なデータ収集手段が脆弱
- ・高齢者の予約手段が電話しかないため耳が悪い人が利用できない
- ・町村間の移動手段が限られていて気軽におでかけできない
- ・来訪者の白川口駅から目的地までの行き方がわかりづらい
- ・福祉有償運送業務における稼働時間が短く、運転手の確保が困難(時間で依頼)

【利用者・住民から見た問題点】(アンケート、懇談会より)

- ・蘇原地区の三川は白川地区まで近いがマツオカでの乗り換えが必要
- ・乗り換えが生じないタクシーサービスを望む声が多い
- ・通院や通学、買物といった移動しか使えないと思われる
- ・高齢になり運転が心配にもかかわらず免許返納ができない
- ・村内は移動サービスが充実しており問題はないが、今から将来の公共交通について議論が必要
- ・町村間の移動手段が限られており気軽におでかけができない

白川町東白川村地域公共交通
のあるべき姿



白川町と東白川村の課題

課題1 白川町東白川村地域公共交通の仕組みを正しく伝え、理解を深める。

- ・多少の不便を分け合うことで多くの住民の暮らしを守る
- ・様々なコトと結び付けを行い利用促進を図り認知度を上げることが急務

課題2 安心して安全な暮らしを続けられるための地域公共交通サービスの充実

- ・高校生が当たり前で地域で暮らせる地域公共交通の確保
- ・マイカー一定年後の暮らしを家族や地域とともに支える仕組みづくり
- ・移動が困難な人の暮らしに寄り添い支える福祉有償運送サービスの充実

課題3 資源を有効に活用して、移動範囲の拡充と多様なニーズに対応

- ・町村の垣根を越えた公共交通サービスの相互利用により移動範囲を拡充
- ・地域内資源の総動員かつ最大限の活用により多様なニーズに応えられる体制づくり

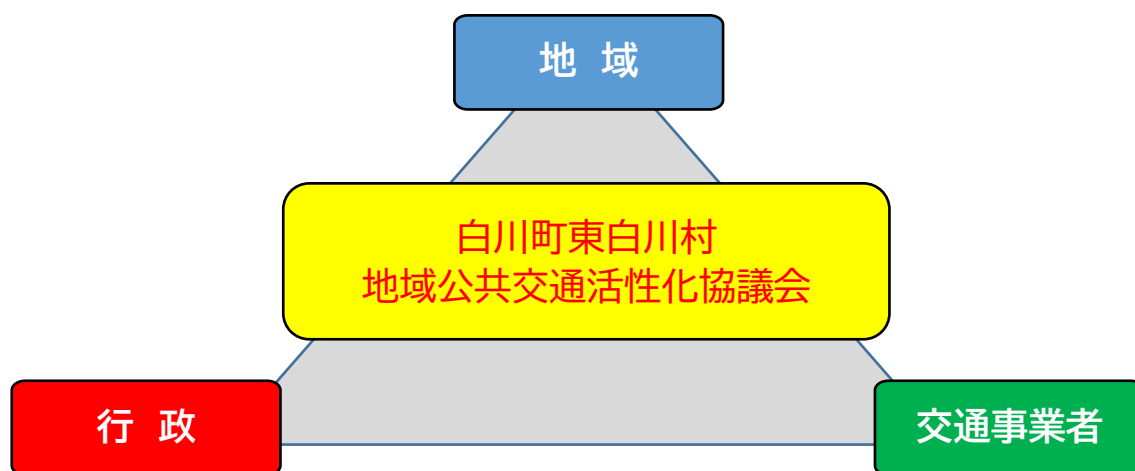
計画の指標と推進体制

先ほど述べた課題を解決できたか評価するための数値指標を以下のように設定する。

《数値指標 目標値》

評価の視点	指 標	現状 2023年	目標 2028年
利用者にとって わかりやすく使いやすい 地域公共交通サービスとなっているか	① 公共交通年間利用者数 地域公共交通計画の「標準指標」 定期路線バス、予約制バス及びJR接続便の利用者数	53,123人	54,000人
	② 75歳以上の免許保有率 2023年岐阜県警(可茂警察署)の保有資料に基づき、現状以下を目標値とする。	47.6%	現状以下
	③ 自宅からの通学を希望する高校生の自宅通学率 2023年白川町公共交通に関する高校生アンケートで自宅から通学している生徒のうち、現在の通学方法に満足していると回答した人数の割合の維持を目標値とする。	90%	90%
	④ 地域公共交通の認知度 ◆ 定期バス ◆ 予約制バス ◆ JR接続便 2023年白川町公共交通に関するアンケートによる区分に応じた認知度を基にし、様々な手法により制度の周知が十分できたかを計るもの。	24.6% 82.7% 77.9%	80% 100% 80%
公共交通に対して、資源を有効に活用した支援となっているか	⑤ オンデマンド乗合交通の1便当たりの乗合率 ※白川町のみ 様々なコトと地域公共交通の結びつきが増えることにより、乗合交通が浸透し、利用促進となっているかを計るもの	—	2以上
	⑥ 公共交通の公的資金投入額(住民一人当たり) ※白川町のみ 町村内の輸送資源を有効に活用しながら、投資を抑制しつつ、サービスが充実しているかを計るもの 町費投入額(年度)÷人口(4月1日現在)	8,963円	1万円以内

地域・交通事業者・行政が三位一体となり事業の推進を図り、計画の進捗管理、検証及び評価を随時行っていきます。



《計画事業の検証と評価》

	令和6年度				令和7年度以降		
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月
白川町東白川村地域公共交通活性化協議会	前年度実績	次年度計画		今年度中途			
事業の実施	→				→		
事業の検証・評価	●	●		●	●	●	
事業の見直し			改善 →				改善 →

基本方針と事業施策

基本方針①

地域公共交通の利便性向上

JR、路線バス、予約制バスの連携はもちろんのこと、他分野における既存の交通（輸送資源）を活用した新たなネットワークの構築や、デジタル技術を活用した予約方法の拡充、利用者との連絡体制の構築やデータを蓄積することで、よりよいサービスに繋げていくことを目指します。

《具体的に取り組む施策(手段)》

●白川町三川地区のゾーン見直し 実施主体：交通事業者、行政(白川町)

三川地区を白川白川北地区及び蘇原地区の重複ゾーンとし、路線バスの運行について検討を行う。

●ノーマイカー入学推進 実施主体：警察、加茂地区交通安全協会、行政(白川東白川)

高齢者の安全運転講習と送迎負担に対する不安を軽減するため、家族に対して公共交通の利用説明をすることにより「公共交通＋家族支援」でノーマイカー入学を後押ししていく。入学式や学習会など、地域公共交通を初めて使う人たち向けのプログラムを企画していく。

●高校時刻表の作成 実施主体：教育委員会、行政(公共交通担当)

町村内から地域公共交通で通える高校の情報や授業等の時刻表と地域公共交通の情報パンフを作成し、進路相談等で活用

●デジタル技術の活用 実施主体：交通事業者、行政(岐阜県・白川東白川)

予約方法の拡充や行動データの蓄積によるサービス改善を図り、充実したサービスの提供を行うとともに、ネット予約者の割引きを通じて、デジタルツールの普及にも繋げる。

●ホームページ・SNSのリニューアル 実施主体：行政(白川東白川)

誰にでも分かりやすく、利用目的に応じた対応が可能となる情報基盤の整備を行う。

●貨客混載事業の研究と実証 実施主体：交通事業者、町村内の宅配郵送業者、直売所、行政(白川東白川)

人と荷物を同時に輸送する仕組みを研究し、農作物の出荷等に地域公共交通が利用できるかを検証していく。

●恵那市コミュニティバス中野方線との接続 実施主体：行政(白川東白川、恵那市)

自家用車で移動する世代が行き慣れた地域との接続を確保するとともに、相互往来による観光振興に繋げる。

●白川町役場新庁舎完成に伴う運行改善 実施主体：交通事業者、行政(白川町)

新庁舎完成に備え、定期バスや予約制バスの運行について見直しを行うとともに、停留環境を整えていく。

●福祉有償運送の充実 実施主体：交通事業者、社会福祉協議会、行政(白川町)

福祉有償運送だけでなく、空いた時間に地域の困りごとにも対応できる仕組みを検討し、集落支援員制度を活用して運転手を雇用することで単独費投入のコスト抑制を図っていく。

●タクシーみたいなサービスの研究 実施主体：交通事業者、行政(白川町)

定期バスとオンデマンド乗合交通による組み合わせを主軸としつつ、運賃設定が高いタクシーのようなサービスを研究し実証を始めていく。移動範囲は域内とし、来訪者の利用も可能となるよう設定 ノーマイカー入学が推進されることも期待

基本方針②

地域公共交通の利用促進

白川町東白川村の地域公共交通の”あるべき姿”を多くの住民に知ってもらうこと、高齢者や高校生だけでなく他の世代でも利用が促進する取り組みを増やす、町村外からの来訪者でも利用しやすい環境を整えていきます。

《具体的に取り組む施策(手段)》

●おでかけツアーの企画と開催 実施主体：小中学校、地域、交通事業者、観光協会、行政(白川東白川)

小中学生、子育て世代、一般、高齢者の4区分にて、地域公共交通を利用したおでかけツアーを企画してもらい実施する。観光客を迎え入れる公共交通を利用したツアーを、観光協会とコラボして企画運営する。

●白川町と東白川村が往来しやすい仕組みづくり 実施主体：交通事業者(地域運営組織)、行政(白川東白川)

同じ域内で決まった場所のみの往来を、目的地まで行ける仕組みについて研究を始めていく。

●ふるさと納税を活用した利用促進 実施主体：交通事業者、行政(白川東白川)

離れて暮らす家族による支援を受けることで、利用を控えている人たちでも安心して利用できる仕組みを構築する。

●EV車を活用したチョコ乗りサービス 実施主体：企業、行政(白川東白川)

通常時は、出張所の公用車や地域内の”ちょい先”までのチョコ乗り車両として利用し、停電時には給電装置として利用。運転手は役場職員(副業)とし、インシャルコストは企業版ふるさと納税の仕組みを活用していく。

●ONEWAYレンタサイクル 実施主体：観光協会、行政(白川東白川)

電動アシスト自転車を拠点に配備し、ONEWAY(片道)利用が可能な仕組みを整備していく。

例)ハイエースに車載用サイクルキャリアを設置し、往路(目的地)を自転車で、復路は地域公共交通で移動できる仕組み

地域公共交通計画策定スケジュール

資料 4

項目	令和5年（2023年）									令和6年（2024年）			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
計画策定の流れ	現状の把握 (利用実績・収支等)		現計画評価		問題点と課題の整理 基本方針案作成			素案作成	意見公募	計画案のとりまとめ			計画策定
地域公共交通 活性化協議会				● 7/6 第1回（現計画の評価）				● 11/6 第2回（素案検討）			● 1/ 第3回（計画案検討） ● 3/ 第4回（策定）		
幹事会 (町村、学識、事業者)		○ 5/2 第1回（アンケート計画・懇談会計画）		○ 6/27 第2回（現計画の評価・住民懇談会）				○ 10/20 第3回（基本方針・施策検討）			○ 1/ 第4回（計画案作成） ○ 2/ 第5回（計画最終案作成）		
懇談会 アンケート調査		利用者アンケート ↔ 集計		○ 7/8・9 利用者・住民懇談会									
その他									↔ 意見公募				